

(学校運営協議会・報告様式)

令和4年度 第2回白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年7月5日(火) 8:10~9:40

2 場 所 会議室

3 協議内容

(1) 朝の活動の様子から

- ・全体的に落ち着いている。その中では、一年生が一番キョロキョロしたりはしている。
- ・1年生の時より落ち着いていて、感動した。
- ・南館の階段に埃が目立った。

(2) 総勤務時間の縮減について

- ・本校での取組
過重労働平均を下げる。月45時間を超える時間外労働を減らす。
年休を取りやすくする。定時退校日を設定する。会議の時間の短縮化
- ・先進地域での取組
「やめられるかも」リストを考え、どの取組なら、地域、保護者の理解を得られたうえで、削減・簡素化ができるか。

【委員から】

- ・教員の労働時間はどのようになっているのか。
→本校の場合、8時20分~16時50分
過重労働とは、勤務時間以降で勤務する時間のこと。
教員には教育調整額4%がついている。
- ・新型コロナウイルスで色々なことが中止になったり、簡素化、短縮化になったりした。学校にとって必要な取組かどうか検証する良い機会になるのではないか。
- ・運動会はもう少し種目があってもよいと思う。小学校のように学年別で開催するのもよいと思う。
- ・勤めている会社では毎週水曜日は定時退勤日となっており、定時に帰宅している。年休もとるべき日数が決められており、その日数分年休をとるように上司から指示もでる。
- ・先生個人のやりがいもある。部活動に熱心な先生もいる。その先生の力を上手に活用できれば。一律には難しい。人の意識を少しずつ変えていく
- ・デジタル化が進んでいく中で、仕事の中身の分析をする時代が来るかもしれない。